

「中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト 2023 in Mitaka」ご協賛のお願い

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろより当事業に多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、例年ご協賛いただいております「中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト」の今年度の開催についてご案内申し上げます。

本コンテストは、子どもたちがプログラミングを学び、自分でコンピュータを動かしたときの感動やつくった作品を発表する体験を通して、新しい世界への興味や関心を呼び起こし、将来への夢を育むことを目的に開催するものです。プログラミング教育がますます注目される昨今、このコンテストを通して、子どもたちがプログラミングにより興味を持ってくれることを願っています。

本コンテストに対する関心、知名度も年々高まっており、2022 年度は 116 作品の応募がありました。第 13 回目の開催となる 2023 年度もテーマは、『つくりたい！が世界を変えていく！』として、さらなる充実をはかってまいります。つきましては、開催趣旨にご賛同いただき、ご協賛を賜りたくお願い申し上げます。

記

1 コンテストの概要

日程：

作品募集期間 2023 年 7 月 15 日（土）～2023 年 10 月 1 日（日）
一次審査 2023 年 11 月上旬
最終審査会 2023 年 12 月 9 日（土）

会場： 三鷹産業プラザ（東京都三鷹市下連雀 3-38-4）

実施要項：

- (1) 参加資格 生年月日が 2005 年 4 月 2 日以降
- (2) 募集区分 ① ゲーム部門
② Web アプリ・IoT 部門（Web アプリケーション、各種ツール、ロボット制御等
ゲーム以外のプログラム作品）
- (3) 募集作品 テーマは自由。過去 1 年以内に、応募者自らが Ruby で作成したオリジナルプログラムで、Ruby の特性を生かしたプログラムの優秀性、プログラミングの楽しさ、発想の面白さや工夫が感じられるような作品を募集。
- (4) 審査及び表彰 書類審査、技術審査、一次審査を経て、プレゼンテーションによる最終審査会を実施。同日、部門ごとに表彰状と副賞を贈呈。応募者全員に参加賞。
- (5) 審査委員（予定）
審査委員長 まつもとゆきひろ氏（「Ruby」開発者、（一財）Ruby アソシエーション理事長）
審査委員 野田 哲夫氏（島根大学 Ruby・OSS プロジェクトセンター長 教授）
田中 和明氏（九州工業大学大学院 情報工学研究院 准教授）
笹田 耕一氏（クックパッド株式会社）
高橋 征義氏（一般社団法人日本 Ruby の会 代表理事）
森 正弥氏（デロイトトーマツコンサルティング合同会社 執行役員）
山内 奏人氏（当コンテスト 2012 U-15 の部最優秀賞受賞者、WED 株式会社 CEO）
江森 真由美氏（株式会社ケーシーエスキャロット執行役員）
- (6) 表彰 最終審査会当日、ゲーム部門、Web アプリ・IoT 部門それぞれ最優秀賞、他各賞を決定。

2 ご協賛について

本コンテストは、企業様の協賛金等で運営しております。当実行委員会では、できるだけ多くの企業様のご参加のもとに、子どもたちがプログラミングを楽しく学び発表する機会を提供し、ICT人材育成教育の振興に寄与してまいりたいと考えています。つきましては、本コンテストの趣旨をご理解いただき、温かいご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

協賛金は原則 **50,000 円以上**とさせていただきます。ご協賛の報酬は、何よりも子どもたちのきらきりと輝く瞳と笑顔です。また、貴社の広報活動や社会貢献活動において、当コンテストに協賛している旨をご活用頂けます。

協賛の特典といたしましては、Web サイトやポスターに企業名及びロゴ等をご寄付相当分のサイズ／配置で印刷し、配付させていただきます。また、最終審査会時の発表者後方のスポンサーボードでのご紹介やオンラインで配信する際はスポンサースライドとしてご紹介する予定です。

掲載サイズの目安は、次のようになります。

Ruby(50 万円) :特大サイズ

Platinum(30 万円) :大サイズ

Gold(15 万円) :中サイズ

Silver(5 万円) :小サイズ

※ポスターは8月に配布予定となりますので、お申込みのタイミングによっては印刷工程の都合上掲載が間に合わない場合がございます。その場合はWeb サイト及び最終審査会時でのご紹介のみとなりますので、予めご了承ください。

さらに、Gold スポンサー(15 万円)以上の協賛企業の皆様で以下の要件を満たす場合は、スポンサー賞の権利を付与させていただきます。

スポンサー賞の要件は以下のとおりです。

1. 協賛企業名を冠とした賞となることを了承いただけること
2. スポンサーランクが Gold(15 万円)以上であること
3. 協賛金以外に副賞を用意出来ること

※副賞は物品でなくても可。エンジニアとの交流企画等を推奨いたします。物品の場合は、原則 10 万円以下とさせていただきます。

4. 12 月9日(土)に開催の最終審査会にご参加いただき、自ら表彰者を選定、表彰可能なこと

※ 1 スポンサーあたり 1 作品ずつ賞を選出いただく形となりますが、選出が競合した場合、スポンサーランク上位から優先的に決定させていただく形となります。また、スポンサーランクが同等の場合は、抽選等で決定させていただきます。ご了承願います。

ご協賛いただけます場合には、協賛金申込書をお送りください。

3 応援メッセージご提供のお願いについて

中高生国際 Ruby プログラミングコンテストの Web サイトにおいて、協賛企業の皆様から中高生に向けての応援メッセージをいただき、掲載をさせていただきます。

つきましては大変恐縮ですが、「中高生がプログラミングに取り組むことへの意義」「チャレンジすることの重要性」等、作品応募に対するモチベーションをあげるべく、100字程度のメッセージをメールにてお送りください。

皆様からいただいた応援メッセージをとりまとめ、7月上旬以降、順次Webサイトへ掲載させていただく予定です。

なお、昨年度応援メッセージをいただきました協賛企業で内容に変更がない場合は、その旨をお伝え頂ければ、昨年度と同じ内容で掲載させていただきますので、新たにお寄せいただく必要はありません。

4 メディア掲載について

過去開催された中高生国際Rubyプログラミングコンテスト最終審査会の様子は、多くのメディアで取り上げられています。

- コカネット「中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2022 in Mitaka」受賞者決定！
- gihyo.jp「中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2022 in Mitaka」受賞者決定
- EdTechZine「「中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2022 in Mitaka」の各賞受賞者が決定」
- QiitaZine「中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2022 in Mitaka」受賞者が決定
- 盛岡タイムス「自作ゲームを最終選考会で発表」
- 岩手日報「滝沢二中女子 輝く最高賞」
- ICT教育ニュース「「中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2022 in Mitaka」受賞者決定」
- 他多数
- その他、過去の受賞者が、NHK総合大阪「ニュースほっと関西」、朝日新聞be「フロントランナー」、岩手めんこいテレビ「GOOD LUCK STORY #407」、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、プレジデント、週刊ダイヤモンド、フォーブスジャパン、YAHOO!ニュース、@IT、ITmediaエンタープライズ等で取り上げられました。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

5 問い合わせ先

中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト実行委員会

事務局 株式会社まちづくり三鷹（担当 大川、内藤、山下、大高）

〒181-8525 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ

TEL 0422-40-9669 FAX 0422-40-9750 E-mail ruby@mitaka.ne.jp

URL <https://www.ruby-procon.net/>